

雲龍型と不知火型



京都人形「雲龍(左)・不知火(右)」(中浜務 作)

2024年5月12日(日)~8月22日(木)

本場所中(5/12~26): 12時30分~16時

本場所以外: 10時30分~16時(最終入館 15時45分)

※休館日がございます。必ずHPでスケジュールをご確認ください。

※大相撲本場所および引退相撲、花相撲の開催日については入場券が必要です。

相撲博物館
SUMO MUSEUM



English

雲龍型と不知火型

横綱土俵入りの型である雲龍型と不知火型。雲龍型は、綱の輪が1つ、せり上がりの際に右手を広げ、左手はわきばらにつけ、攻めと守りの姿勢を示すといわれます。一方、不知火型は、綱の輪が2つで構成され、せり上がりの際に両手を広げ、攻めの姿勢を表すといわれます。

今回の展覧会では、江戸時代の雲龍 久吉や不知火 光右衛門の錦絵をはじめ、往年の横綱が土俵入りで使用した綱などを中心に展示いたします。雲龍型と不知火型の対比を通じて、横綱の歴史とその地位の重みをご体感ください。



相撲博物館 SUMO MUSEUM

状況により会期や開館時間を変更する場合がございます。
必ずHPでスケジュールをご確認ください。



野見宿禰神社
授与所開設



御守、おみくじ、絵馬など各種授与品のお取り扱いがございます。授与品は状況により変更になる場合がございます。